

タブレットを活用した授業実践

2年A組国語科

現在インフルエンザが流行しており、このクラスも複数名の欠席がでています。年間指導計画よりも授業進度が進んでいるため、教科書を進めるよりも、欠席生徒に配慮して、補充学習を行いました。

現在行っている教材は



「走れメロス」です。今回は、2014年に一般財団法人 理数教育研究所が開催した「算数・数学の自由研究」作品コンクールに入賞した中学2年生の論文「メロスの全力を検証」を活用し、この教材を批判的に解釈する学習を行いました。

最初に、タブレットを液晶テレビに接続し、メロスが王城から故郷に帰り、王城に戻るまでの時間の経過を確認しました。

論文を書いた中学2年生は、約40キロの道のりを10時間かけて「走った」メロスに対し、「走れメロス」ではなく「走れよメロス」のほうがあると結論付



けていますが、なかなか興味深い検証です。本校の中学2年生も、そのような発想力を育て、高めてほしいですね。